

新藤杏子 個展 「考える牛」

Solo Exhibition by Kyoko SHINDO —a thinking cow—

2014.6.7 (Sat) —21 (sat)

日、月 休廊 Sunday, Monday Close

12:00 — 19:00



「考える牛」 アクリル、油彩 33.3x24.2cm F4 2014



BAR YUKI-SIS 6.7(Sat) 19:30~

「考えないフリしてる牛」

ホスト 川合英記(広見育成牧場前場長)

★入場料はいりませんが、ドリンクをお求めください。ビルの施錠上、21 時までにご入場ください。

YUKI-SIS

東京都中央区日本橋本町 3-2-12 日本橋小楼 202 03-5542-1669

info@yuki-sis.com <http://yuki-sis.com>

3-2-12- #202,Nihonbashi Honcho,Chuoh-ku,Tokyo

103-0023,JAPAN +81(0)3 5542 1669

YUKI-SIS では、6 月 7 日(土) — 21 日(土)新藤杏子個展「考える牛」を開催いたします。
水彩作品を中心に発表し続けてきた新藤ですが、今回の展覧会では油彩作品で新たな表現世界に踏み込みます。

一昨年、怪我により入院。その間に病院で知り合った 100 名もの人々の事情や背景を聞き、それを「Drawing of one day」として作品化。それ以降の作品では、モチーフになるのもの取り巻く環境や情景をどうやって印象的に画面に落とし込む事が出来るだろうかという事を考えるようになったという新藤。その後の「或る家族」や「或る風景」シリ

ーズで、ポートレートに背景を描いた実験を繰り返し行っていくうちに、そういった情景、人物の心象的な背景を一層際立たせるには油彩を取り入れていくのが良いのではないかとという答えにたどり着いたといいます。

私たちの生きる日常では、どんな強烈な出来事もやがて夢の中の様な出来事になってしまい、鮮烈に経験したものは一体どこにすぎさってしまうのだろうか？

過ぎ去ってしまう前に、そういった日常の経験を鮮烈なまま作品に閉じ込めたら一体どんなものになるのだろうか？
新藤杏子の次のステップに、胸がときめきます。ぜひご覧ください。

Artist Note

昨日何食べたか思い出せない。

1週間前の事が昨日の事のようにだし、昨日の事が1ヶ月前のように感じる。

自分にとって衝撃的な事件や事柄もまるで夢だったかのようだ。

1日の中でさえ、そんなような状態だ。

朝起きて夜寝るまで、どのくらいの記憶を保持できているのだろうか。

朝起きてラジオを聞き、世の中でおこっている事を何となく耳にする。

でも私はきっと夜にはそのことを忘れてしまうのだろう。

何か考えているのか、何も考えていないのか表情を読むことが難しい、

牛の表情は私のそんなぼんやりした日常に少し似ている。

新藤杏子